

I C Tで 授 業 をD X！

学年 小学校 2 年 教科 国語 など

Jamboardで主体的・対話的で深い学びにつなげよう！

使用するアプリケーション等

- ・ Google Classroom
- ・ Google Jamboard
- ・ Google Spreadsheet
- ・ カメラ機能

単元・題材 馬のおもちゃの作り方・おもちゃの作り方をせつめいしよう。

本時の目標 「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。（思考力、判断力、表現力等）

I C Tを活用することで できること

- ・ 端末のカメラ機能を活用して学習活動を記録し、既習内容を明確にすることで、「おもちゃの説明書」に必要な情報が容易に取捨選択できる。
- ・ 端末で資料を配付したり、意見を集めたりすることで、児童の意見を短時間で可視化し、共有することができる。また、共同編集の機能を用いて、互いの意見を視覚的に確認しながら話し合うことで、対話的な学びを深めることができる。

D X 前（I C Tを使っていなかった頃は・・・）

1 導入

- ① 前時までのワークシートを見て、自分の書いた「作り方」の構成を見直し、より分かりやすくするために、工夫する学習であることを確認する。

2 展開

めあて 友だちと話し合っ、て、「作り方」の書き方を分かりやすく工夫しよう

- ① おもちゃの作り方を説明するために必要な工夫のポイントを確認する。
 - おもちゃの説明書の工夫を提示し考える。
- ② 前時で考えた構成をもとに話し合い、工夫できる箇所を考える。
 - 工夫を考えた付箋に書き、構成を書いたワークシートに貼る。
 - 必要な事柄を集めることができるように、おもちゃを作っている時の写真を手元に置き、作った時の様子を想起する。
- ③ 友達からのアドバイスをもとに推敲し、「作り方」の構成に言葉を付け足す。
 - 交流した後、もう一度自分で考える時間を確保する。アドバイスしてもらったことや作る際に必要な詳しい数値等を書き加えるなど、自分の考えの再構築を図る。

3 まとめ

順序や向き、場所を表す言葉を使うと分かりやすい。
相手の気持ちを考えて、先に何をやるか伝えてから説明する。

- ① 振り返りを行う。
 - ノートに書く。

DX!

D X 後（赤字はICT活用場面）

1 導入

- ① 前時までのワークシートを見て、自分の書いた「作り方」の構成を見直し、より分かりやすくするために、工夫する学習であることを確認する。
 - 前時に使用した Google Jamboardの画像を見せ、自分で考えた「作り方」の構成を見直す。



2 展開

めあて 友だちと話し合っ、て、「作り方」の書き方を分かりやすく工夫しよう

- ① おもちゃの作り方を説明するために必要な工夫のポイントを確認する。
 - Google ClassroomでGoogle Jamboardを配布する。
- ② 前時で考えた構成をもとに話し合い、工夫できる箇所を考える。
 - 同じグループの児童とGoogle Jamboardの付箋機能を使って、工夫できる箇所に付箋を貼っていく。
 - 必要な事柄を集めることができるように、おもちゃを作っている時の動画や写真を手元に置き、作った時の様子を想起し、Jamboardで付箋を貼る活動を行う。
- ③ 友達からのアドバイスをもとに推敲し、「作り方」の構成に言葉を付け足す。
 - 交流した後、もう一度自分で考える時間を確保する。アドバイスしてもらったことや作る際に必要な詳しい数値等、動画を視聴し書き加えるなど、自分の考えの再構築を図る。



必要な付箋をコピーし貼り付けることで時間の短縮に。

3 まとめ

順序や向きや場所を表す言葉を使うと分かりやすい。
相手の気持ちを考えて、先に何をやるか伝えてから説明する。

- ① 振り返りを行う。
 - Google ClassroomでGoogle Spreadsheetを配布する。
 - Google Spreadsheetに本時の振り返りを入力する。

授業者から（成果・課題・留意点）

- ・ 情報収集段階で端末を使っておもちゃ作りの動画を撮影し、整理分析の段階でGoogle Jamboardを使うことで、より分かりやすい説明の仕方について検討することができた。
- ・ Google Jamboardで共有した意見を参考にしながら作文を書くことができるため、作文が苦手な児童にとっても効果的な支援となった。